



なのはな会
田中じゅんこ

～生活って政治！！ Let's 市民力～

12月議会は、議案18件・発議1件を可決しました。
補正予算 1億9329万7千円を追加し、平成31年度一般会計予算は、229億7537万3千円になります。

※田中じゅんこは、水道・消防・し尿処理・急患センターに関する宗像地区事務組合議会議員でもあります。

～一般質問から～

今だからこそ、柔軟な運営ができる エンゼルスポットが必要！

市民目線で運営されてきた・・・

エンゼルスポットは、2010年4月に福津市の子育て子育て支援施設として、福間駅の改札から立体駐車場に向かう通路に面して開設されました。就学前の親子や小・中学生、駅を利用する高校生まで、現在も年間1万5千人の利用があります。

開設当初から、非常勤スタッフで運営され、非常勤スタッフが自主的に知恵やアイデアを出しあい、工夫改善しながら運営されてきた施設です。

非常勤職員は、ほぼ福津市民です。市民目線の熱い思いで運営されてきた市民と共に育ってきた施設であり、“地域で、みんなで子育て子育て支援していくこと”を基本に運営されてきた施設です。福津市の子育て子育て支援施設として重要な役割を担ってきました。



福津市の現状は・・・

平成30年12月に、子ども・子育てに関するアンケート調査がされています。アンケートから見えるのは、

- ・家庭での保育も多く、子育て支援事業利用者が多い
- ・0歳から5歳までの人口増加
- ・子育て世代の転入も増え、核家族化が進んでいる。
- ・市内の保育園や幼稚園に通えない状況がある
- ・・・その他

このことから、子育て子育て支援の充実が必要だと言えます。

また、市内には高校が2校しかなく、ほとんどの高校生は市外へ通学しています。その多くは電車を利用しており、福間駅利用者は、今後も増えることが予想されます。

柔軟な運用のできる施設だからこそ・・・

公共施設の維持管理運営が問題になっていますが、エンゼルスポットは、賃貸の施設であるからこそ、子どもが少なくなり、必要がなくなれば契約をやめることができます。柔軟性があり効率的で無駄のない運用が出来る施設です。

子どもが急増し、子育て子育て支援のニーズが増えている今、エンゼルスポットは必要とされる施設です。

～議案から～

令和2年7月から、ごみ袋の価格が変わります！

ネット反対→反対少数につき可決

現在のごみ袋1ℓ当たりの負担額は、特小ごみ袋利用者の方が大きくなっています。このことから、価格改定の理由の一つであるゴミ袋利用者の負担を是正するため（負担がほぼ同じになる）というのは賛成できます。

しかし、価格改定の理由の一つにプラスチックごみのリサイクル率アップがあります。プラスチックごみが、何故燃えるごみに出されているのか理由を考えるべきで、ごみの減量化についてはもっと対策が必要です。

また、周知方法として“HP・広報ふくつ”だけでは、足りません。市役所をはじめとする公共施設での掲示、回覧板などあらゆる手段を使って市民にわかりやすく丁寧に説明・周知することが必要です。販売店への掲示も市が主導して進めるべきです。

ごみ行政について、今一度考えるべきものとして反対しました。



家庭用ごみ袋価格 (10枚入り)	
現行	→ 改定後
大 (45ℓ) 550円	→ 625円
小 (30ℓ) 400円	→ 中 400円
特小 (15ℓ) 225円	→ 小 (20ℓ) 230円

～福津市の課題は～

子どもが増えて嬉しい！

学校が足りない?!



下記の図は、今後の児童・生徒の推移を表にしたものです。児童生徒の増加で、福間・福間南小学校では、運動場使用に制約があります。全学年が一斉に遊べる状態ではありません。

子どもの健やかな成長を望める学校環境になっているか疑問であり、早急の対策が必要です。

